

香川高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	保健・体育Ⅳ	
科目基礎情報							
科目番号	0037		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	実技		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	機械工学科 (2018年度以前入学者)		対象学年	4			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材	教科書：現代保健体育 (大修館書店)						
担当教員	吉澤 恒星,関 幸子						
到達目標							
様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得、を目指す。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
様々なスポーツ種目の実践を通じて、健全な身体の発達及び体力の向上がみられる	スポーツ種目全般について、試合をこなす体力が獲得できる。		得意な種目について、試合をこなす体力が獲得できる。		全ての種目において、試合をこなす体力が獲得できない。		
様々なスポーツ種目の実践を通じて、生涯スポーツ実践のための基礎スキルを獲得できる	スポーツ種目全般について、基礎スキルを体現できる。		得意な種目について、基礎スキルを体現できる。		全ての種目において、基礎スキルを体現できない。		
様々なスポーツ種目の実践を通じて、技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度を醸成できる。	授業での種目実践 (試合など) においてグループの中でリーダーシップを発揮できる。		授業での種目実践 (試合など) においてグループの中で良好な人間関係を構築できる。		授業での種目実践 (試合など) において人間関係を構築できない。		
様々なスポーツ種目の実践や保健の授業を通じて、健康に対する基本的な知識を習得できる	健康に対する基本的な知識を十分に習得し、日々の生活の中で実践できる。		健康に対する基本的な知識を習得し、日々の生活の中で部分的に実践できる		健康に対する基本的な知識を習得できず、実践できない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 D-3							
教育方法等							
概要	様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得、を目指す。						
授業の進め方・方法	学習目標①～③に対応して、スポーツ種目の実践を実技形式の授業でおこなう。なお、種目によっては体力状況を考慮して内容を変更する場合がある。						
注意点	グラウンド状況が不良の場合は、特に運動場での実施種目について学習内容を変更する。 この科目は、本年度内及び進級後に再試験を実施しない。この科目の単位修得が進級要件となるので、必ず修得すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション・スポーツテスト		①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得		
		2週	スポーツテスト		①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得		
		3週	スポーツテスト・選択		①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得		
		4週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)		①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得		
		5週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)		①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得		
		6週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)		①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得		
		7週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)		①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得		

	10週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	11週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	12週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	13週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	14週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	15週	選択（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール）	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	16週	試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	40	40	
専門的能力	0	0	0	0	0	40	40	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	20	20	